



九電工などが出資する「チヤレン」九州・中小企業がんばれファンド」を運営するドーガン・アドバイザーズ社長の森大介さん。熊本市生まれだが、父親の仕事の都合で12歳の時に東京へ。中央大学卒業後、旧日本長期信用銀行、シティバンクと東京を中心に活躍。転機は98年。シティバンクでプライベートバンク(PB)部門の九州担当に手を上げ、福岡事務所設立にかかわった。

PBで成果をあげるも04年に退職。「後継者がいない」「経営が危ない」など寄せられる相談に資産運用のアドバイスに限られるPBでは限界が。それに「九州は投資銀行

## 自社でファンド設立したい 九州の案件は地元売って

のプレイヤーがいません。財界人には、適当な相談先が無かった。まだ銀行へ経営相談をするのは抵抗があるようです。04年に中小企業をM&



ドーガン・アドバイザーズ社長  
森 大介氏(三九)

Aやファンドといった金融的側面から支援するフティック型インベストメントバンク(投資銀行)を興す。初仕事は経営破綻した熊本

の老舗・浦島海苔の経営再建。「(破綻したのに)再建支援のスポンサー探しに着手金3千万円などという話が飛び交う。完全成功報酬で引き

受けました。熊本に通い詰め、スポンサー探しに60社くらい回りました。同時に11月の海苔の仕入れ時期が迫っていたため、DIP(占有継続債務者)ファイナンスで営業譲渡にこぎつけました」。以来、現在進行中の案件も含め、21件のM&Aやコンサルティングを実施。「がんばれ」は7年の期限付き。投資した企業を最後まで見ていけない。将来は自社ファンドを設立し、投資した企業の株を持って一生付き合っていきたい。会社の取引金融機関は肥後銀行福岡支店、福岡銀行本店など。金融機関へは「九州の案件は安易に東京などのサービサーに売らないで欲しい。地元意向が聞き入れられないケースが多い。不良債権処理を急ぐと、切り売りされるなど地元で好結果となることは少ない」と願う。(福岡) (文・写真＝佐野 耕太郎)